

夏休み工作教室「紙すき体験」～和紙カードを作ろう～ H30.8.3（金）

北上山地民俗資料館では、夏休みにあわせて「紙すき体験」～和紙カードを作ろう～の工作教室を開催しました。紙漉き屋・群青の栗橋くみ子さんを講師に、小学生10人が参加しました。

子供たちは最初に、紙すきについて説明を聞いたり、原料のコウゾを実際に触ったり、ノート・ポスター・和紙を破ってそれぞれの感触や硬さを調べてみました。

「紙すき」では、紙の材料となるコウゾの木の皮を剥ぐ・繊維を叩く、漉く、乾燥させる工程を体験して和紙カードを作りました。漉くときは、量・厚さをそろえることや水をきる 때가難しかったようです。初めは慎重にやっていた子供たちでしたが、徐々にコツをつかみ、自然の植物の感触を楽しんで積極的に作業しました。資料館の周辺に生えている草花も入れ、きれいで可愛らしい和紙カードができました。

この他、身近にある紙（ポスターや家にある厚紙）を使ってコマを作りました。つまようじに細長く切った紙を巻いたコマや、手裏剣の形をしたコマを作って対戦して遊びました。

川井地域では昔、小国と片巣で製紙業が営まれていたことが伝えられています（『川井村郷土誌上巻』）。北上山地民俗資料館では、これからも子供たちに地域の伝統的な生活技術を体験してもらい、昔の暮らしに興味を持ち理解を深める機会を提供したいと思います。



皮を剥いている様子！



草花を入れて漉きました！



コマで対戦中！

